

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1913
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.7, No.1 (1913. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19130122-0217

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

るべし。若し果して然らば、シンデカリズム派は之を袖手傍観することを得るや。彼等も亦腕力に訴へても其目的を達せんと爲すに至るならん。而かも這は受動的抵抗に非ざるを奈何せん。(第八章)

さはれシンデカリズムは労働者階級に對して貢獻する所なきにしもあらず。其貢獻とは何ぞや。曰く、各組合に屬する労働が自己の利害問題の解決を他人に委ねて安眠を貪るべからざることを適切に呼號せしにあり。労働問題の解決に勉めつゝある者に三派あり。一は國家社會主義を奉ずる者にして、總ての問題を國會の運用に依りて解決し、國家に絶對的權威を與へんと欲する者即ち是れなり。一はシンデカリズムにして是れ本書に於て論じたる所なり。又一は労働黨にして政黨と協力して労働者の進歩發展を計るものたり。此三派の中にて將來の進歩を確證するものは後者を措きて他に在らず。(第

九章)

以上は本書所論の梗概を述べたるものなるが、七十二頁の小冊良くシンデカリズムの希望と行動とを説明して餘蘊なきが如し。行文又流暢にして讀下して痛快を感ず。文體は多少の缺點なきにしも非ざれども、概して古典的とも云ふべきか。唯憾むらくは本書の論據たるや餘りに労働黨に偏してシンデカリズムに對する批評は多少苛酷に失するの虞あるのみ。

前號(第六卷)第四號 目次

論 說

- 小作料金納の利害 法學博士 桑田熊藏
- 住居問題 ドクトル、フイロツフイ 氣賀勘重
- 商人の意義に關する立法主義 法學博士 松本丞治
- 原始民族に於ける交換の意義 文學士 阿部秀助
- 國際法上國家及び國家の分類に關する私論 慶應義塾大學教授 板倉卓造
- 歐洲に於ける特異なる三種の銀行 小原喜三郎
- 株式の消却 在獨逸 西本辰之助
- 英國國民保險法 増井幸雄
- 憲法發展上に於ける合衆國の地位 吉田三郎
- 經濟學上より自殺を論じて乃木大將の自刃に及ぶ ドクトル、オブ、フイロツフイ 高城仙次郎

紹介

河田學士 共著『日本の經濟と佛教』(松本)

編輯主任

高城仙次郎

一冊定價 金廿五錢 郵税金六錢

一ヶ年前金 金九拾錢 郵税金廿四錢

● 編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
● 營業に關する用件は發賣所宛
● 原稿締切期日は發行の前月十五日限

大正二年一月二十日印刷
大正二年一月廿二日發行
年四回 一月、四月、七月、十月發行

三田學會雜誌 第七卷第一號
編輯發行者 田中一貞
東京市芝區白金三光町四百五十一番地
印刷者 中島丑之助
東京市京橋區宗十郎町十五番地
印刷所 合資東京國文社

發賣元 北文館
東京市小石川區櫻木町六番地

● 尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 東京芝三田 三田學會
慶應義塾内

振替東京一四四八四番
電話番町三三三八一番